

佳作

もうどう犬親子教室にさんかして

茨城県 水戸市立見川小学校三年 鈴木 さくら

わたしは、お母さんと夏休みに、もうどう犬ボランティア親子教室にさんかしました。教室では、もうどう犬がどのようにそだてられるのか、もうどう犬のお仕事はどんなことをするのか、また目の見えない人はどんな生活をしているのかをべん強しました。

実に目に目かくしをして、もうどう犬と歩いてみました。まっ暗で何も見えない中、曲がったり止まったりするのがとても大へんでした。目の見えないまま、もうどう犬と歩くのは、思ったよりふ安でした。でも、もうどう犬がいてくれたから、何も見えずなくてこわかったけれど、目かくしをしたわたしでも分かるように、引いてくれたから、ぶつかることもころぶこともなく、さいごまで歩くことができました。くんれんしたことをまもって、何も見えない

わたしを安全に歩かせてくれたもうどう犬がすごくておどろきました。

もうどう犬のお仕事は、目の見えない人が安全に歩けるよう手つだう仕事です。目の見えない人が、白じょうを使って歩くと、しょうがい物がいっぱいです。白じょうを使っても足元のまわりしか分からないので、頭をぶついたり、かたをぶついたりなどのケガをしてしまうそうです。もうどう犬といっしょに歩くことは、ふ安でふ自由な生活から自由で安心して歩くことができる生活になると思います。もうどう犬は、目の見えない人の目の代わりになるだけではなく、まっ暗な中を一人でいるふ安な気持ちもたすけていると思いました。

わたしはそんなもうどう犬がすごいと思います。まわりをよく見て自分ではんだんできることや、目の見えない人の安全をまもるためにがんばってお仕事をしてくるなど、すばらしい所ばかりで、もうどう犬について知ることたくさんのかん動がありました。

もうどう犬は、生まれて二か月くらいで、パピーウォーカーのお家でそだてられ、人間といっしょにすごしているいろいろなけいけんをします。一才をすぎ

ると、もうどう犬きょう会へもどって、くんれんが
始まります。くんれんをして、もうどう犬としての
仕事がちゃんとできて、その犬のせいかくで、も
うどう犬にむいてないとはんだんされるともうどう
犬にはなれません。わたしはとてもびっくりしまし
た。もうどう犬のお仕事がちゃんとできて、もう
どう犬になれない犬がいることを初めて知りました。

わたしは、もうどう犬のことを今までよりももっ
とりっぱです。すごい犬なんだと思いました。そして目
の见えない人がとても自由な生活をしていると分
かりました。だから、もうどう犬といっしょに歩い
ている目の见えない人がこまっていたらたすけてあ
げようと思います。